

怜「なあ竜華」 竜華
「どしたん怜」 3

ぽんでぷっしゅ

注意事項

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

あらすじ

日常でありそうで無さそうな会話を二人がするだけ

目次

怜「なあ竜華」竜華「どしたん怜」 3

1

怜「なあ竜華」 竜華「どしたん怜」 3

怜「なあ竜華」

竜華「どしたん怜」

怜「ウチなんかラツプできそうな気がするわ」

竜華「怜がラツプ・・・？」

怜「韻踏めばええんやろ？作ってきたし聞いてや」

竜華「わかつたわ。きかせてーな」

怜「よっしやいくで・・・チャラツチャツチャラク♪」

竜華「自分で言うんかい」

怜「此処は田舎ー♪始まる喧嘩ー♪」

怜「染まるよ真つ赤ー♪来るぜ担架ー♪」

竜華（び、微妙・・・）

怜「担架を放火ー♪」

竜華「燃やしたらアカンやろ！」

怜「家に放火ー♪」

竜華「放火はアカンよ!？」

怜「おつ、竜華韻踏んでる」

竜華「上手い事言ったつもりかもやけど上手くないからな？」

怜「なあ竜華」

竜華「どしたん怜」

怜「コンビニのおにぎりあるやん」

竜華「ツナマヨ最強やね」

怜「ウチは塩鮭やね。最近はたまごかけ風味が好きやわ」

竜華「たまごかけ風味とか邪道やろ・・・」

怜「結局のところ旨ければ何でもええねん」

怜「まあ、コンビニのおにぎりがあるわけなんやけど」

竜華「うん」

怜「あの空け方考えた人って天才やと思うねん」

竜華「わかるわ。どうやったらあんな発想できるんやろね」

怜「キチガイで賞をあげたいわ」

竜華「嬉しくないなそれ」

怜 「なあ竜華」

竜華 「どしたん怜」

怜 「今日ALTの先生からお菓子貰ったんやけど」

竜華 「よかったやん」

怜 「それがコレなんやけど」

竜華 「もつとるんかい……っていうかコレってハリーポッターに出てくる何とかビーズに似とるね」

竜華 「怜食べてないの？」

怜 「ウチはもう食べた。コレは竜華の分やで」

竜華 「ホンマ!? 嬉しいわあ……じゃあ遠慮なく貰うで」

竜華 「……」

怜 「どう？」

竜華 「何これ不味い」

怜 「なんか外国で売つとるお菓子なんやけど」

怜 「さつき味を翻訳してみたら『石鹼』と『汚物』やったわ」

竜華 「何やそれ……需要あるんかいな」

怜「少なくともALITの先生は買つとるわけやし需要はあるんじゃない？」

怜「なあ竜華」

竜華「どしたん怜」

怜「ドラクエ5つてあるやん」

竜華「ウチはピアノカ派やな」

怜「ウチはフローラ派や。アイテム貰えるねん」

竜華「えー、怜つてば強欲非道やな」

怜「非道ちやうし、ええやん別に」

怜「玉の輿やん。憧れるやん」

竜華「ウチはスイートメモリーを大切にしていきたいわあ」

怜「まあ、人それぞれ考え方があるっちゆうことで」

怜「前にDS版でリメイクしたんやで」

竜華「マジで？またやろうかなあ」

怜「そんで、ここからが驚きなんやけど」

怜「結婚候補に新しくデボラつて子が出たらしいで」

竜華「デボラ？可愛い名前やな」

竜華 「ちよつとググってみよ…うわ、きつつ…」

竜華 「こんな子嫁に取る人おらんやろ」

怜 「それでもないねん」

怜 「実はこの子凄いんよ」

竜華 「また玉の輿とか言うんやろ…」

怜 「それもあるんやけど」

竜華 「あるんかい」

怜 「イオナズン使えるらしいで」

竜華 「…え？」

怜 「だからイオナズン使えるんや。戦闘楽になるで」

竜華 「ちよつとウチにはその気持ちわからんなあ」

怜 「なあ竜華」

竜華 「どしたん怜」

怜 「カロリーメイトあるやん」

怜 「何味が好きなん？ウチはメープルや」

竜華 「フルーツかなあ、次にチョコ」

怜「チョコも美味しいよなあ、パサつくけど」

竜華「それはメープルも同じやろ・・・」

怜「それはともかくとして、ポテト味って食べた事ないんやけど」

怜「アレってどうなん」

竜華「そのまんまや」

怜「そのまんま・・・？」

竜華「せや、そのまんま」

怜「あとパサつくから？」

竜華「それは他のも同じやろ」

怜「なあ竜華」

竜華「どしたん怜」

怜「なんで竜華はいつもウチに構ってくれるん？」

竜華「そりやあ、怜のことが好きだからに決まっとるからやろ」

怜「なんじゃそりや」

竜華「あれ、気に入らん答えやった？」

怜「アホウ・・・十分すぎるわ」

怜「ウチも好きやで、竜華」ボソツ

竜華「ん？なんか言うた？」

怜「・・・いや、なんも言うてへんよ」